

1. 科目名 (単位数)	第二言語習得理論演習 (2 単位)		3. 科目番号	EIJP3341
2. 授業担当教員	野口 芙美			
4. 授業形態	講義、演習 (グループワーク、ディスカッションなど)		5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	「第二言語習得理論」を必ず受講しておくこと。			
7. 講義概要	第二言語習得理論を踏まえ、更なる実践的な教育能力を身につけると共に、研究能力養成を目指す。本講座では、英語教育や日本語教育などの外国語教育と第二言語習得研究の間にどのような関係があるのかを考えると共に、第二言語習得について、どのような研究や報告がなされているのか知見を深める。そのための方法として、紹介した論文や自分が興味のある論文を選び、それについてまとめ、発表する。			
8. 学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・第二言語習得についての論文を読み、最近の研究の動向を知る。 ・外国語教育の場で第二言語習得がどのように応用されているか考える。 ・外国語学習体験について第二言語習得を通して考える。 			
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事前配布資料を読み、授業前に印象に残ったこと、疑問点などをスプレッドシートに記入しておくこと (事前課題)。授業後は授業の感想・コメント、質問をスプレッドシートに記入すること (事後課題)。 2. 興味関心のあるテーマから第二言語習得に関する文献を選び、それについてレジュメにまとめ授業で発表する (第7回)。 3. 興味関心のあるテーマから第二言語習得に関する研究テーマを選び、それに関連する文献を調べる (第10回)。 4. 研究計画案を作成し (第11回)、それに沿って研究を行う。研究結果は最終回 (第15回) で発表し、内容をレポートにまとめる (最終レポート)。 			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】各講義で資料を配布する。</p> <p>【参考書】白畑知彦他著『詳説 第二言語習得研究—理論から研究法まで—』研究社、2010 迫田久美子著『日本語教育に生かす第二言語習得研究』アルク、2002 大関浩美著『日本語を教えるための第二言語習得論入門』くろしお出版、2010</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 第二言語習得についての論文を読み、最近の研究の動向について自分のことばで説明できるようになったか。 2) 外国語教育の場で第二言語習得がどのように応用されているかについて説明できるようになったか。 3) 外国語学習体験について第二言語習得を通して考えたことを説明できるようになったか。 <p>○評定の方法</p> <p>以下の点を総合して評価する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業への参加態度 総合点の 30% 2 試験 (小テスト・期末テスト・口頭発表試験 等) 総合点の 30% 3 提出課題 (レポート等) 総合点の 40% <p>なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得は基本的に認められない。</p>			
12. 受講生へのメッセージ	最近では、日本語教育に関する第二言語習得研究もテーマ、データ、方法など多岐にわたっている。履修者の興味に合わせ色々な文献を扱い、さまざまな研究をクラスでシェアすることでお互いの知見を深めてほしい。			
13. オフィスアワー	初回の講義で通知する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第 1 回	オリエンテーション、論文の検索方法	事前学習	第二言語習得理論で学んだことを復習しておく。	
		事後学習	第二言語習得に関するキーワードから興味のある論文を検索してみる。指定文献から興味のある文献を選ぶ (第 7 回発表)。	
第 2 回	第二言語学習者の特性	事前学習	事前配布資料を熟読しておく。	
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。	
第 3 回	第二言語習得研究の歴史	事前学習	事前配布資料を熟読しておく。	
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。	
第 4 回	生成文法理論に基づく第二言語習得研究	事前学習	事前配布資料を熟読しておく。	
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。	
第 5 回	処理可能性理論に基づく第二言語習得研究	事前学習	事前配布資料を熟読しておく。	
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。	
第 6 回	認知的アプローチに基づく第二言語習得研究	事前学習	事前配布資料を熟読しておく。	
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。	
第 7 回	発表 (文献紹介)	事前学習	興味のあるテーマの中からそれに関する先行研究を選び、レジュメを作成する。	
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。	
第 8 回	第二言語習得研究でのデータ収集方法①データの種類の	事前学習	事前配布資料を熟読しておく。	
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。	
第 9 回	第二言語習得研究でのデータ収集方法②具体的なデータ収集方法と注意点	事前学習	事前配布資料を熟読しておく。	
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。	

第10回	第二言語習得に関する研究テーマ検討、発表（文献のまとめ）	事前学習	興味のあるテーマを選び、関連する先行文献をまとめてレジユメを作成する。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。コメントを受けて、先行研究をまとめ直す。
第11回	第二言語習得に関する研究テーマ提出、研究計画案の検討	事前学習	第10回での検討を踏まえ、研究計画案を作成する。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。コメントを受けて、研究計画案を改善する。
第12回	第二言語習得に関する研究論文の構成	事前学習	事前配布資料を熟読しておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第13回	指導と第二言語習得	事前学習	事前配布資料を熟読しておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第14回	年齢と第二言語習得	事前学習	事前配布資料を熟読しておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第15回	研究発表：第二言語習得に関する研究、質問とコメント、最終レポート準備	事前学習	研究内容の発表に向けてレジユメの作成・プレゼンテーションの準備を行う。これまでの学習内容を振り返り、疑問点を明らかにしておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。これまでの学習内容を復習する。研究内容をレポートにまとめて提出する。